

【様式 2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立有田工業高等学校【定時制】

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日

令和 5 年 2 月 1 4 日 (火) 第 5 回学校運営協議会

(2) 資料 (評価の参考とした資料)

- ・学校運営協議会資料 (第 1 回～第 5 回)
定時制の紹介及び取組資料
- ・学校評価アンケート (9 月・2 月実施) の生徒・保護者・教職員の結果
- ・有工ヤッホー (学校新聞)

(3) 評価者

学校運営協議会委員 (1 3 名)

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・各項目の取組目標も妥当であり、それぞれの分掌間の連携ができています。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・セラミック科とデザイン科は県内唯一の学科であり、全定交流等で勤務が長い先生も多いことで職員間の協力体制が整いやすく、学校の良い雰囲気に繋がっていると思われる。

③改善方策の適切さ

- ・教職員の働き方改革として、資料の事前配布による会議時間の短縮は効果がみられる。先生方のゆとりからくる生徒への影響は大きいと思う。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・少人数による個別対応が可能な授業が、生徒にとって通いやすい学校になっている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・生徒の実態に応じた活動ができていることが、出席率の向上に繋がっている。

③改善方策の適切さ

- ・新聞部の活動や開校記念行事の講話など、地域や学校に関連した活動の計画の中に、生徒が興味を持ちやすい内容が取り入れられている。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・全日制と一緒に行事 (文化祭、卒業制作展) が、定時制の生徒の自信につながっていると思われる。
- ・総合文化祭の立体部門二席、デザイン部門一席や生徒生活体験発表大会での知事賞など、活躍している生徒の姿を見ると嬉しくなります。